

安全対策チェックシート(深度競技用) ver.1.00
 各項目の内容にチェックを入れ、具体的な説明が必要な項目には記入して回答してください。
 右側の必須欄に※の入っている項目は、大会の申請をするにあたって、満たされなければならない必須の項目となります。

1 安全管理体制全般

1.1	安全管理責任者について		氏名:		必須
1.1.1	主催者		氏名:		
1.1.2	安全管理責任者(安全管理業務専任)		氏名:		
1.1.3	安全管理責任者(安全管理業務専任) 安全責任者は競技中に監視業務に注力できなくなる他の役割と兼任をしていない。 ※「監視業務に注力できなくなる他の役割」の例 カウントダウンアナウンス、撮影係、セーフティ・ダイバー、選手、ジャッジ		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.1.4	フリーダイビングにおいて起りやすいトラブル・リスクへの理解、知識がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2	安全管理担当者について		氏名:	本	
1.2.1	医師/医療関係者氏名		資格:		
1.2.2	資格について		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.3	フリーダイビングの生理的リスクへの理解、知識がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.4	セーフティ・フリーダイバー・リーダー氏名		資格:		
1.2.5	資格について(あれば)		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.6	フリーダイビングの生理的リスクへの理解、知識がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.2.7	水面での競技者の気道確保の練習経験が十分にある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.8	セーフティ・スクーバダイバー氏名(2名以上必須。単独潜水は厳禁)		氏名:	本	
1.2.9	経験本数		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.10	2年以内に心肺蘇生方法や蘇生講習の受講経験がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.11	フリーダイビングの生理的リスクへの理解、知識がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.12	流れの有無に関わらず、中性浮力を水中で取れる。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.13	スキン・ダイビングの経験がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.14	リフト・バッグによる選手浮上の練習経験が十分にある。 (水深-30m以上に配置する場合の必須条件)		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.2.15	スクーバ経験本数が300本以上である。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.2.16	ナイトロックス講習の受講経験がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.2.17	テクニカル(各水深に適応した)ダイバーの受講経験がある。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.3	安全装備について				
1.3.1	緊急時運営計画(フローチャート)を作成している。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.3.2	酸素吸入ユニットを準備している。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.3.3	ファーストエイド・キットを準備している。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
1.3.4	緊急時通信機器(携帯電話等)を準備している。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.3.5	緊急時移送手段(ボート、車、など)を用意している。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.4	安全確保のための事前準備について				
1.4.1	減圧チャンバーの所在(深度競技の場合)		住所等:		
1.4.2	使用可能かどうかの確認		<input type="checkbox"/> 実施した		
1.4.3	緊急時運営計画(フローチャート)をスタッフが共有している。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	※
1.4.4	競技会場ごとの安全基準の確認(法律、規則など)		<input type="checkbox"/> 実施した		
1.4.5	セーフティの事前練習、全体ミーティングを計画し、実施した。		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	

2 安全管理者配置・安全装備等

		必須
2.1	大会中断・中止基準	※
2.1.1	海況、天候の変化による競技の中断、中止基準を持っている。	<input type="checkbox"/> はい
2.2	安全配置	
	ウォームアップ・ゾーン	
2.2.1	選手のトラブルの時の確保の詳細について全セーフティが理解している。	<input type="checkbox"/> はい
2.2.2	ウォームアップ・ゾーン1か所につき1人以上のセーフティFDが安全管理を担当する。	<input type="checkbox"/> はい
	待機ゾーン	
2.2.3	競技ゾーンのセーフティFDが安全管理を担当する。	<input type="checkbox"/> はい
	競技ゾーン	
2.2.4	競技者1人につき1人以上のセーフティFDが安全管理を担当する。	<input type="checkbox"/> はい
	陸上待機	
2.2.5	緊急時に対処できる陸上スタッフを1人以上配置している。	<input type="checkbox"/> はい
2.3	競技者の安全確保要領	
2.3.1	フリーダイバー強制浮上システム	
2.3.2	緊急対応のために、以下のいずれかの使用実績のあるフリーダイバー強制浮上システムを備えている(いずれかにチェック)。	<input type="checkbox"/> はい
2.3.3	1. ダイバーアシストシステム	<input type="checkbox"/>
2.3.4	2. ラインアシストシステム	<input type="checkbox"/>
2.3.5	3. カウンターバランスシステム(CBS)	<input type="checkbox"/>
2.3.6	CBS使用の場合、運用ルール・作動手順を確認している。	<input type="checkbox"/> はい
2.3.7	システムのバックアップを用意している。	<input type="checkbox"/> はい
2.3.8	使用するフリーダイバー強制浮上システムは1m/秒以上の浮上速度で競技者を浮上させられる。	<input type="checkbox"/> はい

※FD=フリーダイバー

ただし、ロープが複数ある、範囲が広いと言った場合には複数のFDを配置することが望ましい。

具体的な方法:

3 スタッフの安全確保他について

3.1 セーフティSD及びセーフティFDの安全確保要領について		□はい	□いいえ	必須
3.1.1	セーフティSDを配置するか	□はい	□いいえ	
	「はい」の場合			
3.1.2	セーフティSDは、競技者の潜降および浮上をサポートできる間隔に配置している。	□はい		※
3.1.3	休憩・交代が十分に可能なタイムテーブルを組んでいる。	□はい		※
3.2	セーフティSD自身の安全確保要領(セーフティSDを配置する場合)			
	以下に挙げる項目について、どのような方法をとるかを計画していること。			
3.2.1	選手のトラブルの時の確保の詳細について(セーフティSDを配置する場合はセーフティSD含む)全セーフティダイバーが理解している。	□はい		※
3.2.2	水中のセーフティSDへの伝達手段を用意している。	□はい	具体的な方法:	※
3.2.3	水中のセーフティSDから船上のスタッフへの伝達手段を用意している。	□はい	具体的な方法:	※
3.2.4	水中に強い流れがある場合、透視度・透視度が極端に悪い場合も位置を保つことができる。	□はい	具体的な方法:	※
3.2.5	万一、セーフティSDが浮上予定時間に浮上してこない、あるいは船上、水面から視認が出来ない(現場の海域から離れた場所に浮上した場合を含む)とき、どのような緊急体制を取るかの手順を計画している。	□はい	具体的な方法:	※
3.2.6	セーフティSDが減圧停止を行なえるよう、専用のロープ、もしくはそれに準ずる減圧ステーションを用意している。	□はい		※
3.3	セーフティFD自身の安全確保要領			
	以下に挙げる項目について、どのような方法をとるかを計画していること。			
3.3.1	強い潮流がある場合に位置を確保する方法	□はい		※
3.3.2	万一セーフティ自身が海上で流された場合の対処	□はい		※
3.4	ドリフトダイブに関する安全基準			
3.4.1	ドリフトダイブを行うか	□はい	□いいえ	
	「はい」の場合			
3.4.2	現場の海域の特徴、海底の地形を十分に熟知している。	□はい		※
3.4.3	リアルタイムで深度の監視が可能である。	□はい		※
3.4.4	リアルタイムで位置情報の監視が可能である(GPS)。	□はい		※
3.4.5	常にカウンタ・バランス・システムの動作に必要な深度が十分に確保できる。	□はい		※
3.4.6	ドリフトダイブを行なう海域をあらかじめ計画してあり、計画海域から外れた場合は競技を中止する。	□はい		※

※SD=スクーパーダイバー